

**APAMAN**

FY2019 3Q FINANCIAL RESULTS

2019年9月期 第3四半期 決算補足資料

2019年 7月30日 (火)

A P A M A N 株式会社

JASDAQ : 8889



## Sharing economy

### 大幅増収・増益

Co-working“fabbit”の会員数が大幅に増加



## Platform

### 増収・減益

事故の影響による



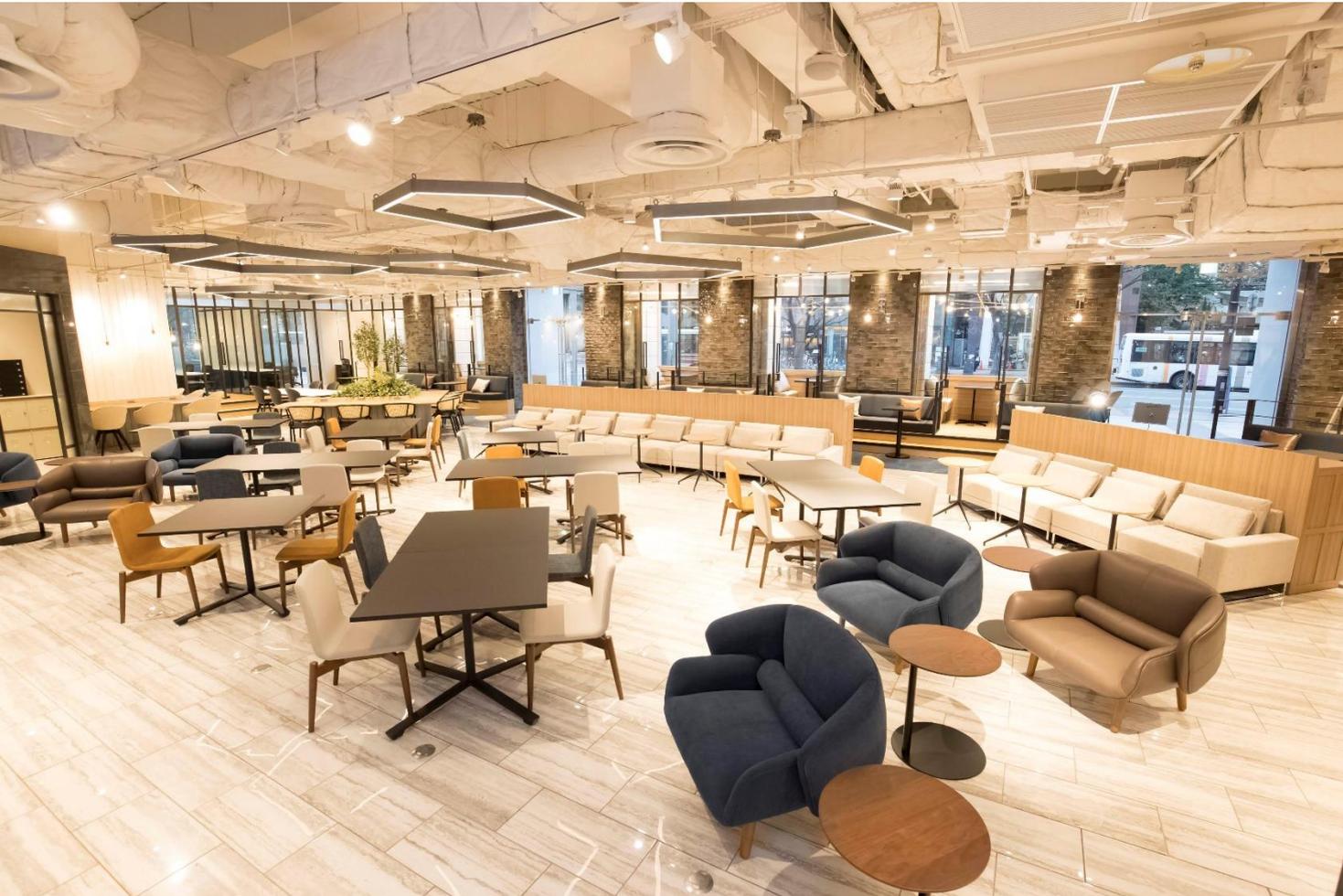
## Cloud technology

### 増収・増益

クラウド利用やWEB反響が増加

# 1. 先行投資（Sharing economy）の状況

# 1. Co-working



fabbit Global Gateway "ACROS Fukuoka"

## Co-working

2018年9月末

41 カ所

↓ + 2 カ所

2019年6月末

43 カ所

※上記数値は契約ベースです。拠点は、直営・FC、提携会社含む

# 1. Co-working

## 会員数の大幅増加



会員数

**5,991**人



拠点数

**43**カ所



マッチング件数(約)

**92,000**件



イベント開催(実績)

**2,421**回

※2019年6月末時点。

- ・会員数…fabbit、Compass、及びグループ出資会社を含みます。
- ・拠点数…設計施工中を含みます。グループ出資先のWorkbarを含んでいます。
- ・マッチング件数(紹介)…会員同士の紹介件数累計です。各種イベントや懇親会などは、1出席者に2人を紹介にて算出しています。
- ・イベント開催(実績)…fabbit、Compass、Fukuoka Growth Next及びグループ出資する会社の実績累計です。大規模イベントから小規模イベントまで全てを含んでいます。

# 1. Co-working（新しいコンセプト）

グローバルコミュニケーションを推進する“fabbit Global Gateway”  
大手町・大阪本町・福岡天神がオープン。サンフランシスコが年内オープン予定



# 1. Co-working (fabbit Hawaii オープン)

## アメリカ合衆国商務省経済開発局・HTDC(ハワイ技術開発公社)の補助事業



※fabbitが運営するスペースは上記写真施設内の一部です。



# 1. Co-working (fabbit 神戸三宮 オープン)

神戸市・兵庫県による「イノベーション拠点立地促進補助制度」に認定



# 1. Co-working（他社比較）

## fabbit

- ・ コワーキング日本最大級
- ・ **スタートアップ・第二創業支援に特化**

## A社

- ・ 企業価値 約5兆円
- ・ コワーキング世界最大級
- ・ 主に大手企業が利用

## B社

- ・ 室数世界最大級
- ・ 主にレンタルオフィスを運営

fabbit社は政府の提唱する「日本再興戦略2016」の趣旨に賛同し、「スタートアップ企業」や「企業の第二創業」の支援、また大手企業とのビジネスマッチング等を推進する「fabbit」を運営しております。現在、国内21カ所、海外22カ所、日本最大級の coworking 施設数※1、約6,000名の会員※2を有しており、主要都市及び海外拠点との連携や会員間の情報交流が積極的に行われております。



代表者経歴

ハーバード大学経営大学院修了（MBA取得）、ボストン・コンサルティング・グループなどを経てfabbit株式会社代表取締役社長に就任。訳書「スタートアップで働くということ～起業家ではなく参加者として会社を立ち上げる～」（HBS上級講師 ジェフリー・バスギャン 書）

※1 コワーキング施設数…設計施工中を含みます。グループ出資先のWorkbarを含んでいます。  
 ※2 会員数…fabbit、Compass、及びグループ出資会社を含みます。

### ▼ fabbit 独自の支援プログラム



# 1. Co-working（連携実績）

## 国内外の主なエコシステムプレイヤー等と続々と連携

### 国内□

- ・NICT、総務省開催「起業家甲子園」等、企画支援
- ・内閣府、福岡市等が主催の「サイエンス&イノベーションフォーラム」にてfabbit代表が講演
- ・北九州市との官民共働型施設「COMPASS小倉」運営
- ・東京都多摩ものづくり型創業支援施設整備補助事業「fabbit八王子」運営
- ・日本ベンチャーキャピタル株式会社と共同でスタートアップ支援ファンド運営
- ・クラウドファンディング最大手 CAMPFIRE との資本・業務提携
- ・日本最大級の海外クラウドワーカープラットフォームのワークシフト・ソリューションズ株式会社と人材のシェアリングエコノミーに関する業務提携
- ・株式会社パソナとプロフェッショナル人材のスキルシェアリングサービスに関する業務提携
- ・Crewwwとのオープンイノベーションプログラム実施
- ・九州大学にて「共創問題解決授業」を実施
- ・九州工業大学が開発を進めるアントレプレナーシッププログラムに参画
- ・大企業向けオープンイノベーションサービス開始
- ・fabbitファンドよりワークシフト・ソリューションズ株式会社、Mamasan & Company株式会社、ハッチ・クリエイティブ・ワークス株式会社へ出資
- ・ストリートアカデミー株式会社株式取得
- ・東京インディペンデンツクラブを日本ベンチャーキャピタル株式会社と共催
- ・B2Bコミュニケーション・プラットフォームTrustedと業務提携
- ・fabbit共同事業体と西日本シティ銀行との連携強化
- ・fabbit神戸三宮グランドオープン
- ・ウィルグループHRTechアクセラレータープログラムへメンター参加
- ・fabbit八王子にて八王子ビジネスプランコンテスト2019開催

### 海外□

- ・世界最大のスタートアップイベントSlush(Tokyo)とイベント共同開催等、業務提携
- ・DocuSign(NASDAQ)弊社代表がアドバイザリーボードに就任
- ・Fenox Venture Capital(スタートアップワールドカップ九州予選大会の運営)
- ・Fenox Venture Capital(スタートアップワールドカップ日本予選 審査員)
- ・Workbar(ボストン)の株式取得
- ・fabbit(フィリピン)の株式取得
- ・fabbit Conference 全国大会2017にて、Wikipedia創業者 ジミー・ウェールズ氏講演
- ・fabbit Conference 全国大会2017にて、Twitter共同創業者 ビズ・ストーン氏講演
- ・グローバル展開を目指すスタートアップのためのコワーキングスペース運営  
fabbit Global Gateway “Otemachi”“Osaka Honmachi”“ACROS Fukuoka”
- ・fabbit Conference 全国大会2018にて、YouTube 共同創業者 チャド・ハーリー氏講演
- ・fabbit Conference 全国大会2018にて、Apple 共同創業者 スティーブ・ウォズニアク氏講演
- ・Global Innovators in Startup City Fukuokaにて、チャド・ハーリー氏、スティーブ・ウォズニアク氏特別講演
- ・Hult Prize東京地区予選審査員参加

# 1. Co-working (連携実績)

## 国内外の主なエコシステムプレイヤー等と続々と連携



※上記は、12月5日に東京で開催された「fabbit Conference 全国大会2018」、12月6日に福岡で開催された「Global Innovators in Startup City Fukuoka」の様子です。

# 1. Co-working (施設一部紹介)



## *fabbit* Global Gateway "ACROS Fukuoka"

- 住所 : 福岡県福岡市中央区天神1丁目1-1  
(天神地下街直結、天神駅16番徒歩5分)
- 開設 : 2018年12月7日
- 席数 : 固定席 28席(個室12部屋含む)  
フリー席 100席/貸会議室あり
- 面積 : 455.34㎡



# 1. Co-working (施設一部紹介)



fabbit Global Gateway "Otemachi"



fabbit Global Gateway "OsakaHonmachi"



fabbit 青山



fabbit 大手町



fabbit 銀座



fabbit 八王子



fabbit 栄



fabbit 広島駅前



COMPASS 小倉

## 2. Parking



### Parking

2018年9月末

**3,028** 台



+ 559 台

2019年6月末

**3,587** 台

※上記数値は契約ベースです

### 3. 民泊



## 民泊

2018年9月末

**716** 室

↓ + 325 室

2019年6月末

**1,041** 室

※上記数値は契約ベースです  
※関連会社含む

### 3. 民泊（施設一部紹介）



Grandouceセルージュ



Grandouce四天王寺



Grandouce道頓堀



Grandouce日本橋



Grandouce難波西



Grandouce Villa鶴橋



Grandouce博多



Grandouceブエナビスタ



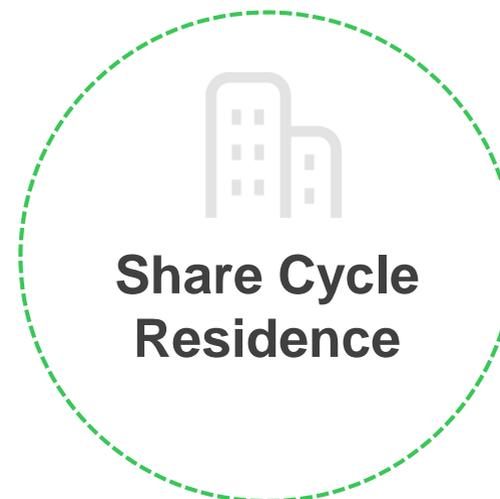
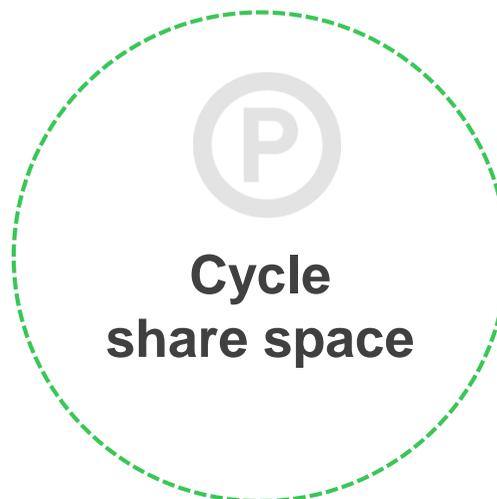
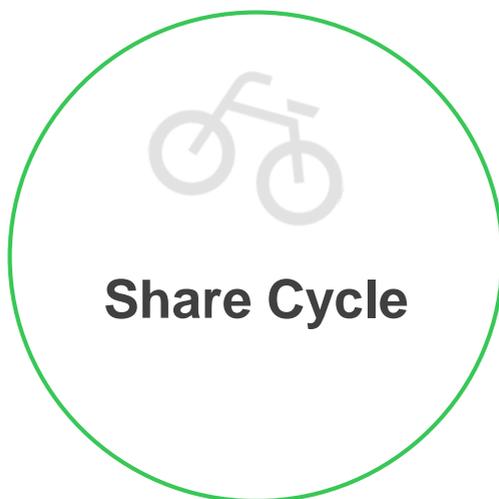
Grandouce難波東

## 4. Share Cycle

ecobikeは、政府が2017年に施行した「自転車活用推進法」の趣旨に賛同し、シェアリングエコノミーとして利便性の高いサービスを提供することに加え、利用者の移動データを用いたデータマイニングサービスを提供するために設立されました。

現在12の地方自治体と連携し、Share Cycle を提供しております。

今後は、Share Cycle に加え、駐輪スペースをシェアする「Cycle Share Space」と、マンションの住人が自転車を共有する「Share Cycle Residence」を推進します。



## 4. Share Cycle



### Share Cycle

2018年9月末

**841** 台分

↓ + 64 台

2019年6月末

**905** 台分

協定書締結：福津市・飯塚市・古賀市・宗像市・那珂川市・台東区・町田市・大和市・千葉市・伊仙町・徳之島町・天城町

※上記数値は契約ベースです。Share Cycle、Cycle share space、Share Cycle Residenceの合計です。

## 2. 2019年9月期 第3四半期 連結実績

# 1. 連結決算主要数値推移（前年同期比）

（単位：百万円）

	18 / 9期 3Q	19 / 9期 3Q	備考	前年同期比	
				金額	率
売上高	30,556	35,483	Sharing economy、Platform、 Cloud technology主要セグメント増収	+4,927	+16.1%
売上総利益	8,554	9,200	Sharing economy大幅増益	+646	+7.6%
販管費	7,227	7,287		+59	+0.8%
営業利益	1,326	1,913	Sharing economy大幅増益	+586	+44.2%
経常利益	821	1,488	Sharing economy大幅増益	+667	+81.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲498	67	事故関連損失 ▲10億円 保険収入 +3.1億円	+566	—
EBITDA*	2,178	2,784	Sharing economy大幅増益による	+605	+27.8%

\* EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

## 2. 連結貸借対照表主要数値（前期末比）

（単位：百万円）

資産の部	18/9期 期末	19/9期 3Q	増減	備考
<b>流動資産</b>	<b>14,641</b>	<b>13,366</b>	<b>▲1,275</b>	
現金及び預金	7,773	5,813	▲1,960	
受取手形及び売掛金	1,567	1,732	164	
営業投資有価証券	1,031	1,064	+32	
その他	4,268	4,756	+487	短期貸付金+592
<b>固定資産</b>	<b>20,904</b>	<b>20,197</b>	<b>▲706</b>	
有形固定資産	4,693	4,613	▲80	
無形固定資産	9,207	8,970	▲236	
のれん	7,215	6,931	▲283	
その他 無形固定資産	1,991	2,039	+47	
投資その他の資産	7,003	6,613	▲389	
<b>総資産</b>	<b>35,545</b>	<b>33,563</b>	<b>▲1,981</b>	

負債・純資産の部	18/9期 期末	19/9期 3Q	増減	備考
<b>流動負債</b>	<b>10,523</b>	<b>10,102</b>	<b>▲421</b>	
買掛金	1,005	1,324	+318	
短期借入金*	1,979	2,096	+116	
その他	7,538	6,681	▲857	未払税金▲983
<b>固定負債</b>	<b>20,474</b>	<b>19,028</b>	<b>▲1,445</b>	
長期借入金	17,797	16,327	▲1,469	
長期預り敷金・保証金	1,750	1,678	▲71	
その他	926	1,022	+95	
<b>負債合計</b>	<b>30,998</b>	<b>29,131</b>	<b>▲1,867</b>	
<b>資本金</b>	<b>7,983</b>	<b>7,983</b>	<b>—</b>	
<b>純資産</b>	<b>4,546</b>	<b>4,432</b>	<b>▲114</b>	
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>35,545</b>	<b>33,563</b>	<b>▲1,981</b>	

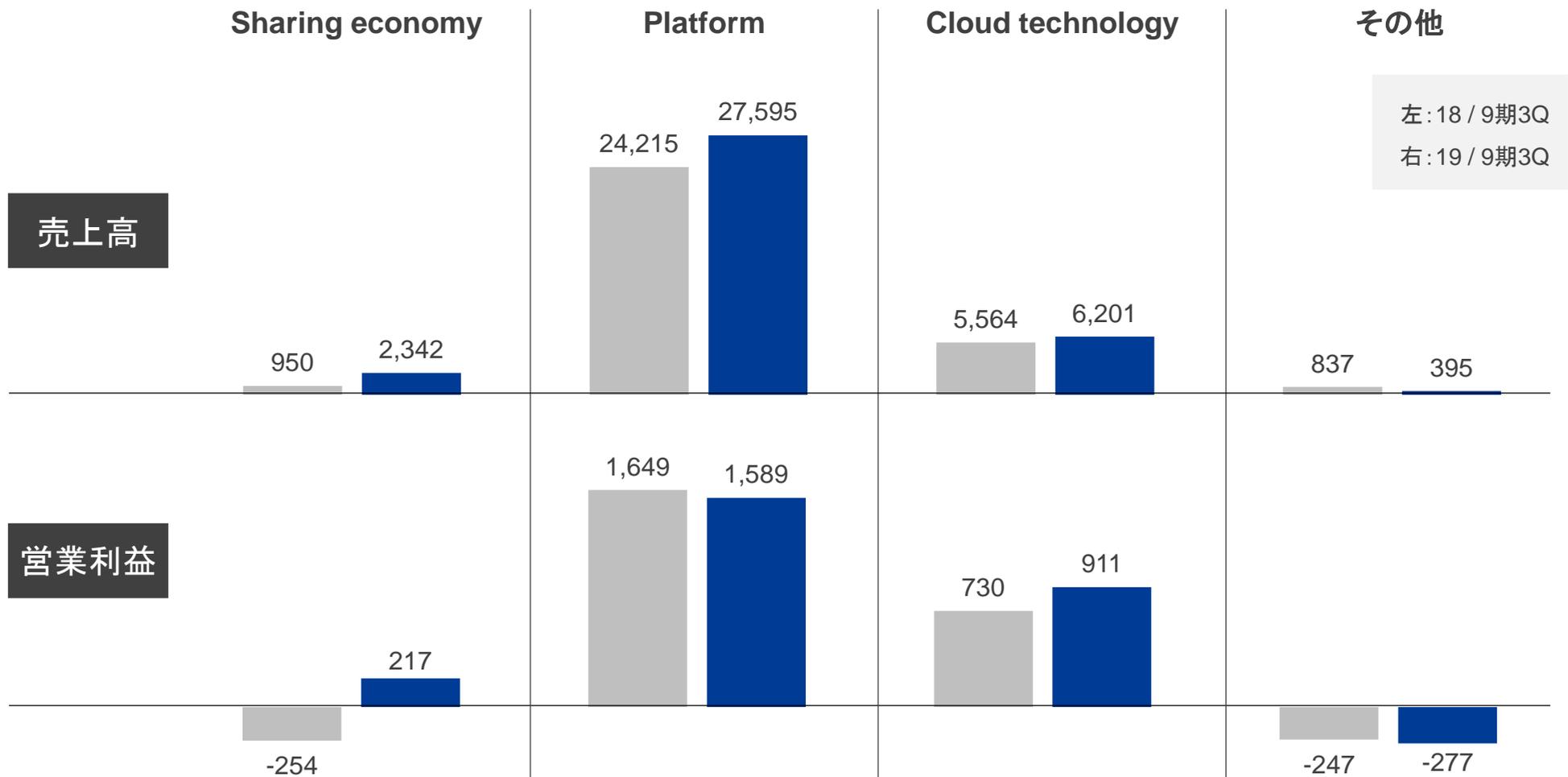
\*一年内返済予定の長期借入金を含む

### 3. 2019年9月期 第3四半期 セグメント実績

# 1. セグメント別売上高・営業利益（2期比較）

## 売上は主要3セグメントすべて増収

（単位：百万円）



## 2. Sharing economy事業（2期比較）

（単位：百万円）

	18/9期 3Q	19/9期 3Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	950	2,342	+1,391	+146.5%
営業利益	▲254	217	472	-

### Co-working



拠点数

41カ所 → **43** カ所

### Parking



Parking台数

3,028台 → **3,587** 台

### 民泊



室数

716室 → **1,041** 室

### Share Cycle



契約台数

841台 → **905** 台

※上記数値は契約ベースです／民泊は関連会社室数含む／ecobikeは提携店台数含む

### 3. Platform事業（2期比較）

（単位：百万円）

	18/9期 3Q	19/9期 3Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	24,215	27,595	+3,379	+14.0%
営業利益	1,649	1,589	▲60	▲3.7%

#### 店舗



FC契約直営店舗数

107店 → **92** 店

#### PM



管理戸数

90,198戸 → **85,810** 戸

#### 主な付帯・関連サービス

保険

保証

緊急駆付け

電気・ガス

送金・振込

通信

鍵交換

NHK加入取次

CATV加入取次

付帯・関連サービス粗利

1,477百万円 → **1,463** 百万円

※直営店のFC化を段階的に進めています。

# 4. Cloud technology事業（2期比較）

(単位:百万円)

	18/9期 3Q	19/9期 3Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	5,564	6,201	+637	+11.5%
営業利益	730	911	+181	+24.8%

## Cloud technology 一例

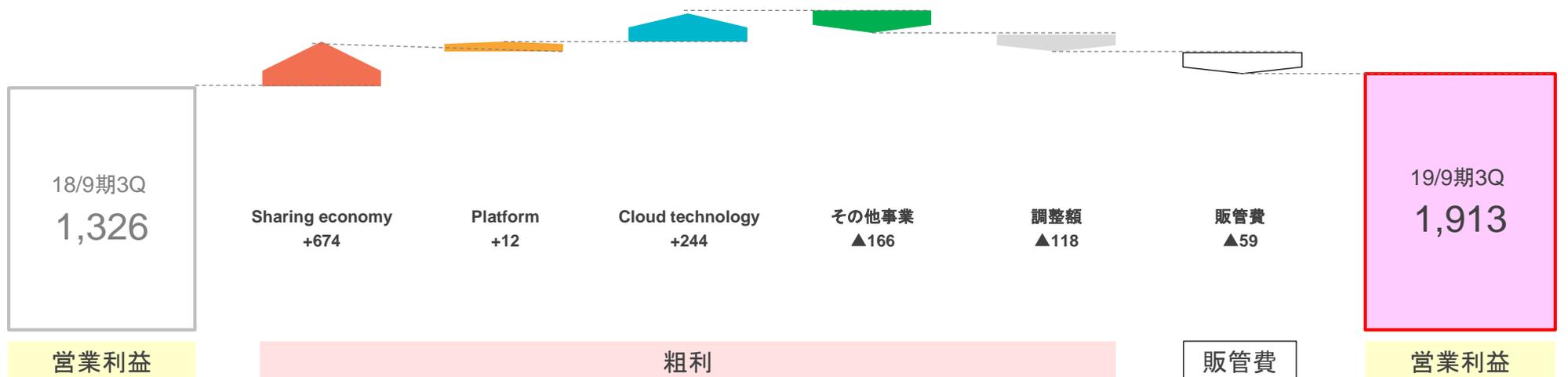


※シェアリングキーは出資企業の商品を取り扱っております。

# 5. セグメント別営業利益分析（前年同期比）

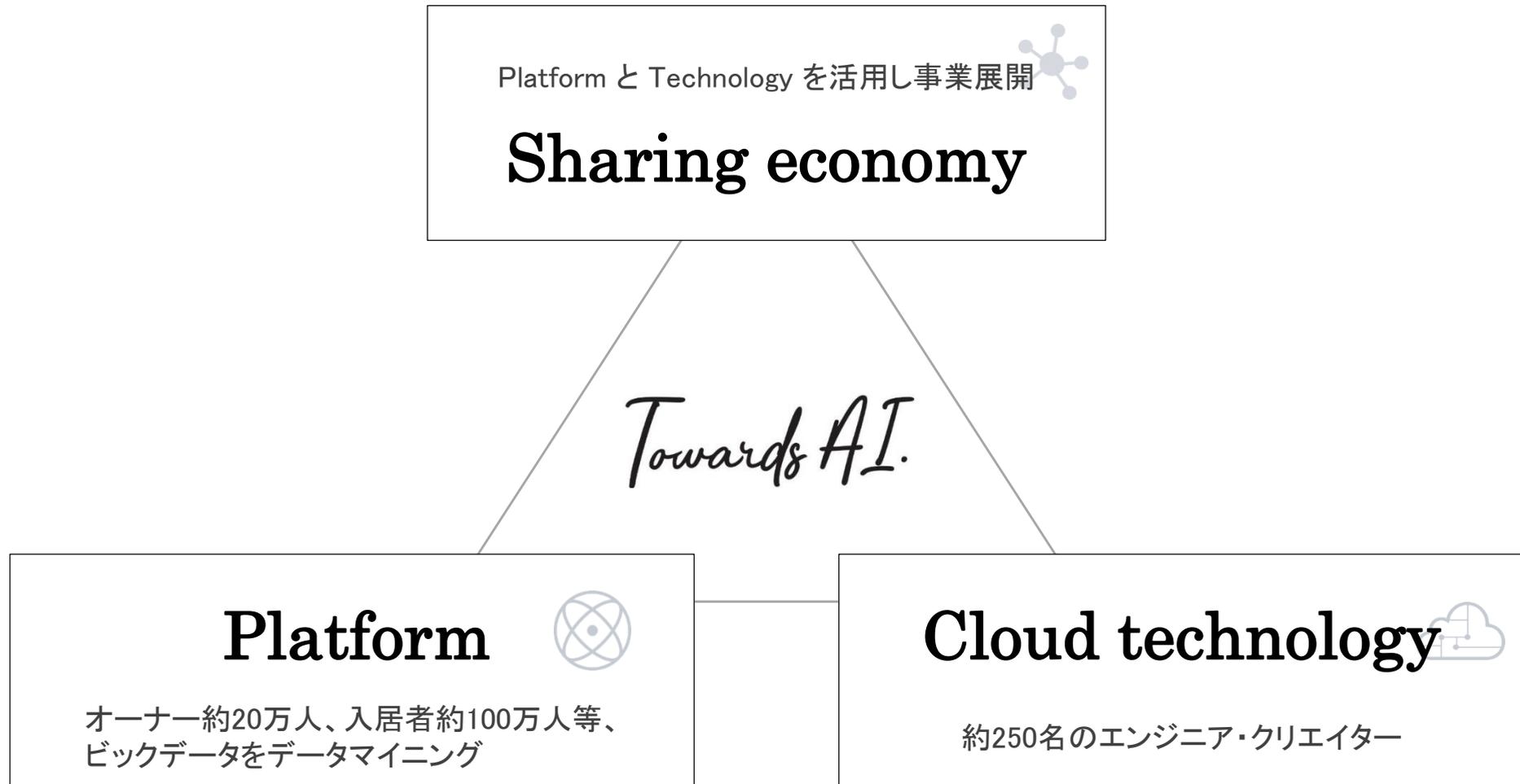
（単位：百万円）

	18/9期 3Q			19/9期 3Q			前年同期比		
	売上高	売上総利益	率	売上高	売上総利益	率	売上高	売上総利益	率
Sharing economy	950	117	12.3%	2,342	791	33.8%	+1,391	+674	+21.5%
Platform	24,215	7,447	30.8%	27,595	7,459	27.0%	+3,379	+12	▲3.7%
Cloud technology	5,564	1,427	25.7%	6,201	1,671	27.0%	+637	+244	+1.3%
その他事業	837	273	32.7%	395	107	27.2%	▲441	▲166	▲5.5%
調整額（消去または全社）	▲1,010	▲711	—	▲1,050	▲830	—	▲40	▲118	—
合計	30,556	8,554	28.0%	35,483	9,200	25.9%	+4,927	+646	▲2.1%
販管費（販管费率）	7,227		23.7%	7,287		20.5%	+59		▲3.2%
営業利益（営業利益率）	1,326		4.3%	1,913		5.4%	+586		+1.1%



## 4. 2019年9月期 第3四半期 連結業績予想と戦略

# 1. APAMANグループの強み



※Platformの数字はFC加盟企業を含みます

※Cloud technologyの従業員数はグループの合計人数です

## 2. 連結決算主要数値業績予想（2期比較）

（単位：百万円）

	18 / 9期 実績	19 / 9期 予想	前年同期比	
			金額	率
売上高	41,682	45,000	+3,318	108.0%
営業利益 (営業利益率)	1,626 (3.9%)	2,000 (4.4%)	+374 (+0.5%)	123.5%
経常利益	881	1,400	+519	160.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,073	▲100	+973	—

※事故損失引当金▲10億円  
保険収入 3.1億円

2019年9月期 総合戦略

先行投資を継続しつつも  
増収増益を目指します

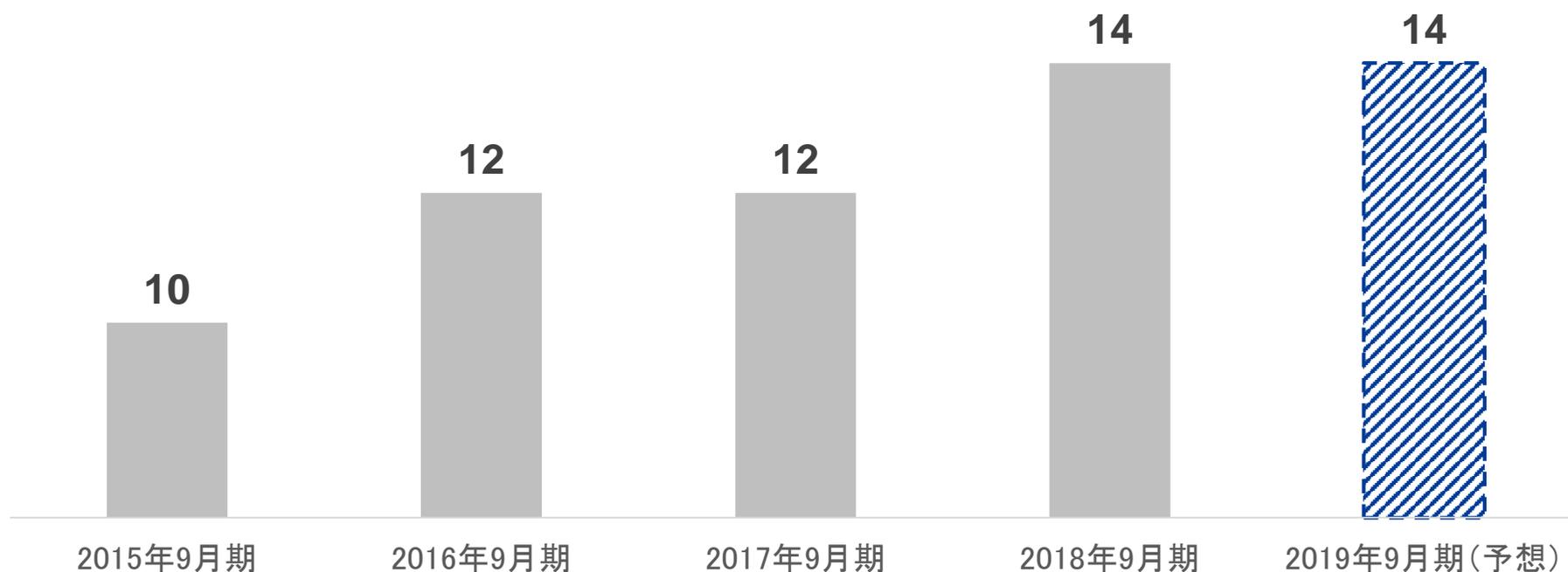
## 5. 配当方針

# 1. 配当方針

株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の進展等を勘案しながら利益還元に勤めることを基本方針としております。先行投資期間ではありますが、日ごろのご支援に対し、安定した配当で株主還元をしてまいります。

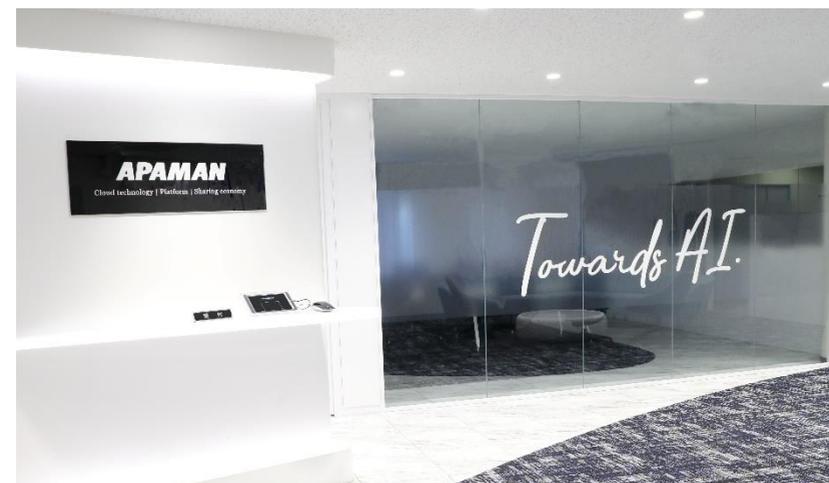
■ 1株あたり期末配当金推移

単位:円



## 2. 会社概要

商号	APAMAN株式会社
代表取締役社長	大村 浩次
資本金	79.8億円（2018年9月30日現在）
連結従業員数	1,208名（2018年9月30日現在）
本社所在地	東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル
事業内容	Sharing economy Platform Cloud technology
証券コード	8889 (JASDAQ スタンダード)



# APAMAN

## 本資料に関する注意事項

本資料の表示数値は金額に関しては切り捨て、パーセンテージ表示については四捨五入等、端数計算により行っているため、算式に基づき算定される数値とその結果として記載される数値は必ずしも一致しない場合があります。本資料に記載されている経営戦略、計画や見通し等は、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。

また、掲載内容については、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるかどうか、有用であるかどうか、更新時期が適切であるか等について当社は一切保証するものではありません。また、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は、APAMAN株式会社および当社関係会社の事業の概要へのご理解をいただくために作成されたものであり、投資の勧誘または斡旋を行うものではありません。投資に関するご判断はお客様自身の責任で行われますようお願い申し上げます。

本資料は、現時点での最終数値であり、過去の決算説明資料の数字を保証するものではありません。